

授業の考察⑤<小学校> 「友達のトラブルを解決する方法を考えよう」

考察の視点

支え合う人間関係を築くための支援の在り方として、ピア・メディエーションに関する活動プログラムの開発をしてきました。この活動プログラムの有効性について、小学校6時間の授業を、以下のⅠ、Ⅱの2点を視点に考察します。

授業の考察の視点

- | |
|------------------|
| Ⅰ 本時のねらいを達成できたか |
| Ⅱ 次時につながる内容であったか |

なお、考察のために抽出した児童の記述については、ワークシートと振り返りシートの記述を直接引用しています。

Ⅰ 本時のねらいを達成できたかについての考察

○は成果、◇は展開案やワークシート等の修正等に関する内容です。

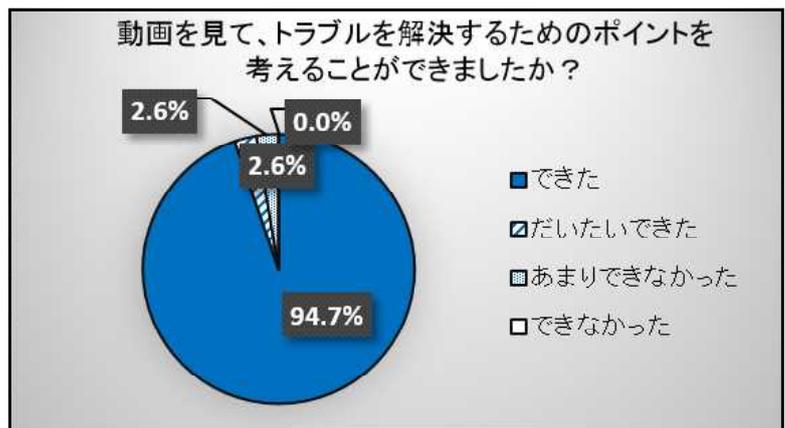
本時のねらいを達成できたかを、次の表1の「本時のねらいを達成することができたかを判断する目安」を基に、ワークシートの記述及び振り返りシートの結果と記述から考察します。

表1 本時のねらいを達成することができたかを判断する目安

- | |
|---|
| ・ 振り返りシートの質問項目「動画を見て、トラブルを解決するためのポイントを考えることができましたか」で、「できた」「だいたいできた」の合計が80%以上であること |
| ・ 振り返りシートの質問項目「トラブル解決のポイントが分かりましたか」で、「分かった」「だいたい分かった」の合計が80%以上であること |

1 トラブルを解決するためのポイントを考えることについて

○振り返りシートの「動画を見て、トラブルを解決するためのポイントを考えることができましたか」の質問に対して「できた」「だいたいできた」と回答した児童の合計は97.3%で、ほとんどの児童が間に入る役の言動に着目しながら動画を視聴し、トラブル解決のポイントを考えることができました（資料1）。



資料1 トラブルを解決するためのポイントを考えることについてのアンケート結果(振り返りシートより)

○児童が動画を視聴する中で、「間に入る役」の働き掛けがあって徐々にトラブルが終息していく過程を確認したり、「間に入る役」の必要性を感じたりすることができました（資料2）。

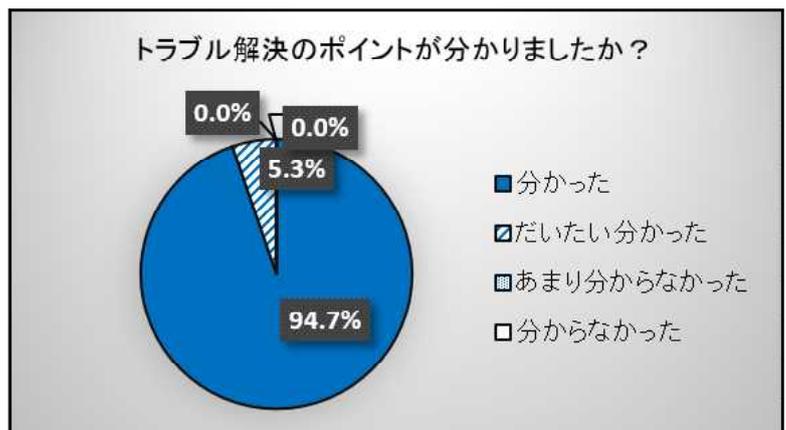
私はCさんが話しに入って来て、話がさいこまでいって、おま
 ていて、さいこには仲なおりして、そのときはイライラしていた
 気持ちか、スカッとされたのでよかったです。あと、私はBの役を
 やって、あのままCさんが話しに入ってきたら、Aさんと仲な
 りできなかったと思うから、あそこでCさんが入ってきて、よ
 かったです。

AさんとBさんがもめている中に入るということができて
 良かったです。AさんとBさんが私の出した決まりをきちんと
 守らうとしてくれてうれしかったです。トラブルを解決
 するにはCさん役が必要だと思いました。

資料2 トラブルを解決するためのポイントを考えることについての児童の記述（ワークシートより）

2 トラブル解決のポイントの理解について

○振り返りシートの「トラブル解決のポイントが分かりましたか」の質問に対して「分かった」「だいたい分かった」と回答した児童の合計は100%で、全ての児童がトラブル解決のポイントを理解することができました（資料3）。動画の視聴前に、見る視点を示していたことで、トラブル解決のポイントに対する意識が高まり、十分な理解につながったと考えます。



資料3 トラブル解決のポイントの理解についてのアンケート結果（振り返りシートより）

○実際に間に入る役を体験したときの気持ちや、もめている間に入ってもらうことで事態が深刻になる前に終息していく様子を感じることができました（資料4）。

間に入る時はゆきがいることが分かりました。
 間に入る役は、自分の意見をだしてはいけないことが分かりました。トラブルのかいけつには、間に入る役が必要だと思いました。

トラブルがあってもCさんみたいな人が入ると言い合いみたいにならずに解決できたので演じています。きりしました。相手の意見を最後まで聞くことが分かりました。

資料4 トラブル解決のポイントの理解についての児童の記述(ワークシートより)

以上のことから、児童はトラブルを解決するためのポイントについて理解を深めており、本時の授業が本時のねらいを達成する内容であったことが分かりました。

II 次時につながる内容であったかについての考察

○は成果、◇は展開案やワークシート等の修正等に関する内容です。

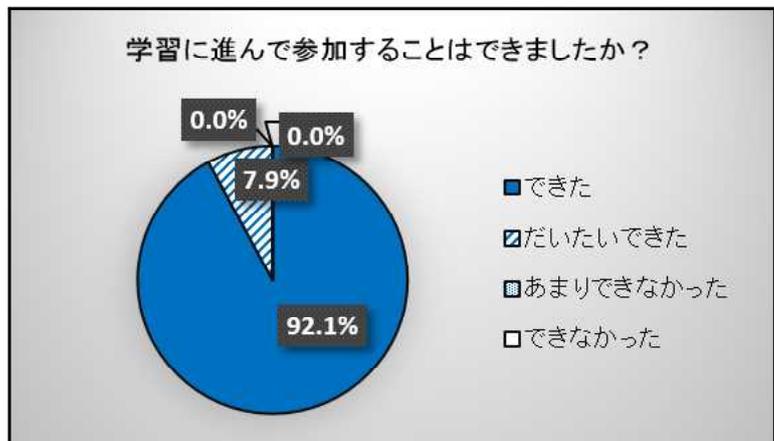
次時につながる内容であったかを、Iの本時のねらいを達成できたかについての考察と併せて、次の表2の「次時につながる内容であったかを判断する目安」を基に、ワークシートの記述及び振り返りシートの結果と記述から考察します。

表2 次時につながる内容であったかを判断する目安

・振り返りシートの質問項目「学習に進んで参加することができましたか」で、「できた」「だいたいできた」の合計が80%以上であること
・振り返りシートの質問項目「今日学習した内容をこれからの生活に生かしていきたいと思えますか」で、「思う」「少し思う」の合計が80%以上であること

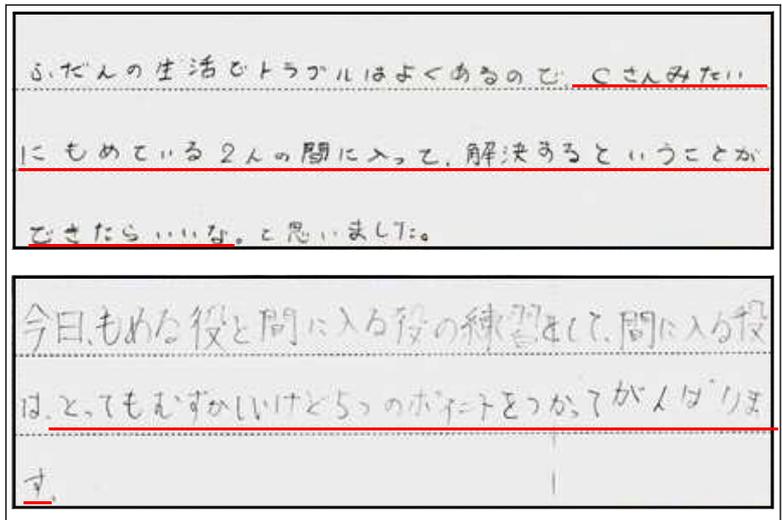
1 学習に進んで参加することができかについて

○振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問に対して「できた」「だいたいできた」と回答した児童の合計は100%で、全ての児童が学習に対して意欲的に取り組んだことが分かりました（資料5）。



資料5 学習への参加状況についてのアンケート結果(振り返りシートより)

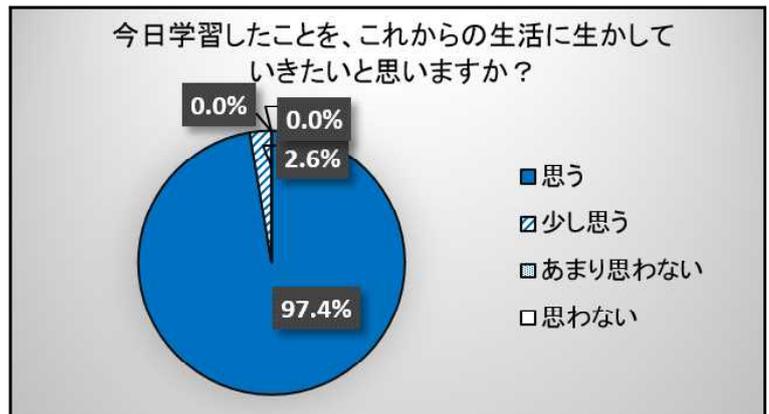
○ロールプレイをするとき、「間に入る役」が使っているトラブル解決のポイントを意識しながら役を演じたり観察したりしたことで、トラブル解決のポイントを使ってトラブルの場面に対処していきたいという意欲が高まったと考えます（資料6）。



資料6 学習への参加状況についての児童の感想(振り返りシートより)

2 学習内容の今後の活用について

○振り返りシートの「今日学習した内容をこれからの生活に生かしていきたいと思えますか」の質問に対して「思う」「少し思う」と回答した児童の合計は100%で、全ての児童が今日学習したことを生かしていきたいと思っていることが分かりました（資料7）。



資料7 学習内容の今後の活用についてのアンケート結果(振り返りシートより)

- 「間に入る役」の難しさを感じながらも、今後の生活の中でトラブル解決のポイントを使ってトラブルの場面に対処したいと感じていることが分かりました。また、「間に入る役」には勇気が必要だと感じるとともに、その必要性にも気付いていることが分かりました（資料8）。

今日の学習を生かして、友達がもしもめていたら、Cさん役のように5つのポイントを守って中に入っていけたらいいです。

私は、もめている役だったけど、間に入る人が来てくれたので、解決しやすいということが分かりました。間に入る役の人はとて勇気がないとできないと思いき

今日の学習で私はCの間に入る役をしました。Cの役をしてみてもC役はとても大切だと思いました。AさんもBさんもCさんがいるだけで自分のいいたいことをきちんと伝えられるし自分のいいたい事がよく分かると思います。これからこういう事がおこったときに今日やったことを生かしていいです。

資料8 学習内容の今後の活用についての
児童の感想(振り返りシートより)

以上のことから、本時の授業が本時のねらいを達成する内容であるとともに、児童が学習に参加したり学習内容を活用したりする意欲が見られ、次時の学習につながる内容であったことが分かりました。